

施策番号	0403		
施策名	地域コミュニティと京都市との新しいパートナーシップ		
概要	自主的に取り組む地域コミュニティと京都市との新しいパートナーシップを確立するため、京都市が新たなしくみづくりや支援機能の強化を図る。		
担当局・部室	文化市民局・地域自治推進室	共管局・部室	
上位政策	4 市民生活とコミュニティ		
施策に関係する 主な分野別計画等			

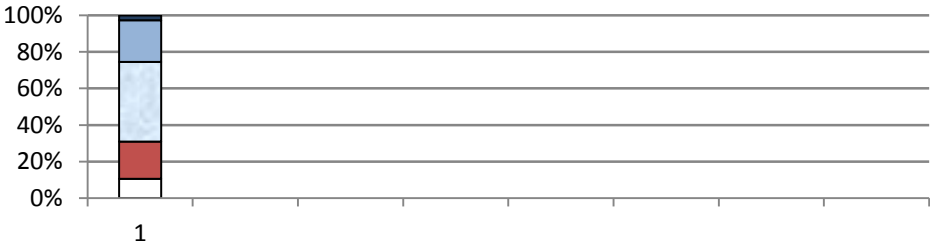
施策の評価

1 客観指標評価

指標名		23年度	24年度	25年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1	まちづくりアドバイザーが活動支援を行っている学区数(学区)	-	a	56	61	59	103.4%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		-	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		25年度回答							
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	評価	
1	町内会，自治会などの地域の組織の主体的な活動と，それに対する行政の支援とがうまくかみ合っている。	13	113	216	101	52	495	c	
		2.6%	22.8%	43.6%	20.4%	10.5%			
2	-							-	
3	-							-	
4	-							-	
5	-							-	
		市民生活実感調査総合評価							c



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						24 年度	B
	重み付け	☐ 客観指標	a	☒ 市民の実感	c			
(重み付けの理由) 地域コミュニティは共同体意識を基礎とすることから、その協力体制も実感されることに意義があるため、市民の実感に重みを置く。								
(原因分析) ・客観指標評価については、平成24年度は、各区役所・支所に地域力推進室を設置し、区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算を導入するなど、区のまちづくり機能の強化を図ったこともあり、まちづくりアドバイザーによる支援学区数が増加したため、昨年度に引き続き、a評価となった。 ・市民の実感については、4割以上の方が「どちらとも言えない」と回答されており、c評価となっているが、否定的な回答の割合が肯定的な回答を上回ることから、地域コミュニティと本市とのパートナーシップの確立と周知を一層強化する必要がある。							23 年度	C

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		25年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		24年度 決算額	25年度 予算額		
1	「下京・町衆倶楽部」支援事業	4,350	—	—	文化市民局
2	【北区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	54,718	60,540	かなり良い	区役所
3	【上京区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	60,647	62,612	良い	区役所
4	【左京区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	76,499	82,699	良い	区役所
5	【中京区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	58,531	59,884	普通	区役所
6	【東山区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	49,882	52,432	かなり良い	区役所
7	【山科区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	63,504	66,084	良い	区役所
8	【下京区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	61,584	68,989	良い	区役所
9	【南区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	80,190	85,046	良い	区役所
10	【右京区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	94,828	113,448	かなり良い	区役所
11	【伏見区・深草支所・醍醐支所】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	150,927	173,350	かなり良い	区役所
12	【西京区・洛西支所】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	100,097	108,069	かなり良い	区役所
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・まちづくりアドバイザーが支援を行う学区数を増やす取組はもとより、地域コミュニティ活性化に必要な情報提供、助言などを行う総合相談窓口「地域コミュニティサポートセンター」や地域活動・市民活動を応援する「自治会・町内会&NP0おうえんポータルサイト」の運営、「地域コミュニティ活性化に向けた地域活動支援制度」などの取組を総合的に推進することにより、地域コミュニティと本市とのパートナーシップの確立と周知に努める。

施策名	0403	地域コミュニティと京都市との新しいパートナーシップ										
指標名	まちづくりアドバイザーが活動支援を行っている学区数(学区)											
担当課	地域自治推進室		連絡先	2 2 2 - 3 0 4 9								
1 指標の説明												
地域コミュニティの自主的な活動に対し、まちづくりアドバイザーが支援を行っている学区数												
2 指標の意味												
住民が主体的に課題に取り組むまちづくりに向けて、地域組織と京都市の共汗によるまちづくりの進捗状況を示す指標												
3 算出方法・出典等												
算出方法：まちづくりアドバイザーへの調査												
4 数値												
	前回数値	最新数値	推移	目標値								
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度						
数値	56	61	5件増	59	平成22年度の現況値が47学区であり、平成23～32年度に110学区(年6学区増)にすることを目標とする。	103.4%						
	全国順位	中長期目標				備考						
		数値	目標年次	達成度	根拠							
数値		110学区	32年度	55.5%	平成23年度から32年度に年6学区増							
5 評価基準												
目標値に対する達成度が a：100%以上 b：90%～99% c：80%～89% d：70%～79% e：69%以下												
6 基準説明												
目標値をaとし、以下10%刻みで基準を設定した。												
7 評価結果												
<table><tr><td>23</td><td>24</td><td>25</td></tr><tr><td>-</td><td>a</td><td>a</td></tr></table>							23	24	25	-	a	a
23	24	25										
-	a	a										